

「正誤表」

ガイドブック 14 ページ、委員会企画について
倫理委員会企画プログラムの掲載が漏れておりました。
深くお詫び申し上げますとともに、内容を下記に記載いたします。

第 35 回日本外来小児科学会年次集会 運営事務局

委員会企画

<倫理委員会> 研究倫理と研究公正：健全な研究活動のための基礎知識

座長： 稲光 毅（いなみつこどもクリニック）

講師： 三品 浩基（神戸市 こども家庭局）

本邦の研究倫理指針は、人を対象とする研究に携わる者の基本的責務として、「研究者等は、研究の実施に先立ち、研究に関する倫理並びに当該研究の実施に必要な知識及び技術に関する教育・研修を受けなければならない。また、研究期間中も適宜継続して、教育・研修を受けなければならない。」と定めています。そのため、年次集会において、研究倫理に関する研修の機会が、定期的に設けられることは重要と考えています。今回の研修では、これまでの倫理審査の経験に基づき、研究計画書を作成する際に研究者が抑えておくべき倫理的配慮のポイントについて解説します。また、健全な研究活動を行うために必要とされる研究公正に関する基礎知識（不正行為の防止、利益相反の管理、等）についても、過去の事例を取り上げながら紹介したいと思います。

（三品 浩基）